

事業番号	09 04 32	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	和牛の受精卵確保緊急対策事業			担当課	農政部		
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H27 ~ H28		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	受精卵を供給する「繁殖農家」、受精卵を移植し和子牛を生産する「酪農家」、和子牛を受け入れて育成・肥育する「肥育農家等」からなる受精卵移植(ET)連携体制を強化し、受精卵移植技術の持続的な活用による和牛出生頭数の増加及び農家所得の向上を図る。											
現状(予算編成時)	和牛出生頭数の減少に伴う子牛価格の高騰や受胎率の向上等により、全国的に受精卵移植の需要が増加している。遺伝的産肉能力に優れた繁殖牛からの受精卵採取を進めているが、採卵による空胎期間延長等の懸念から、受精卵を利用しない所有者は採卵に消極的である。全国最大の受精卵供給元である全農ET研究所では、全国からの注文が殺到し需要を満たす供給が困難となっている。											
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 農産物産出額の向上のため、和牛生産基盤の強化が必要である。家畜改良増殖法										
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)											
	ET連携体制による採卵数360卵 (設定理由: 現在不足している和牛の受精卵について、2年間の事業実施で需要量の90%を確保することを目指し360卵と設定)											
	② 事業内容 (単位:千円)											
		項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29				
				(当初)	(決算)	(当初)						
	ET連携体制の構築及び優良和牛受精卵の確保	補助金	ET連携体制で実施する優良繁殖牛からの採卵の推進を図った。	3,300	2,310	0						
	ET連携体制の構築支援	直接	情報収集及びマッチングを通じたET連携体制の構築支援を行った。	115	71	0						
			合計	3,415	2,381	0						
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度			成果目標の達成状況				
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	3,415	3,415	目標				成果	達成状況		
		補正予算										
		合計(A)	3,415	3,415	0				体制による採卵数	-	360卵	
	Aの財源	一般財源	3,415	3,415								
		県債										
		国庫支出金										
		その他	0	0	0							
	ト	決算額(B)	3,230	2,381								
概算人件費	職員数(人)	1.30	1.30									
	概算人件費(C)	10,759	10,288	0								
	概算事業費(B(A)+C)	13,989	12,669	0								
目標に対する成果の状況	ET連携体制の構築支援を行うことで、本年度新たに1連携体制が構築された。採卵数は、既存の連携体制で事業対象となる供卵牛の確保することができず、また採卵を予定していた牛の状態により採卵できない牛が出たため、採卵数の目標は達成できなかった。											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 7地域で事業を実施し、受精卵移植を核とした連携体制の構築が図られたため事業は終了する。
--------------------	--